



R7年 5月12日
富岡保育園
りす組 No.1



新年度が始まり、もうすぐ1ヶ月半が過ぎようとしています。新しい担任に人見知りで泣きだすこともありましたが、最近是一緒にふれ合い遊びをしたり、お歌を歌ったりと笑顔も見せてくれるようになりうれしく思っています。

朝からも「おはよう」と声をかけると走って来てくれたり、絵本や手遊びになると膝に乗って来たり、ほんとうに可愛いです。歌を歌うと小さな手をたたいてリズムをとったり、出始めたばかりの言葉で所どころ歌ってみたり、庭に出ると小さな虫にすごく顔を近づけて見てみたり、ちょっとした仕草が何とも可愛くて、一緒に過ごせる幸せを感じ、こんなにかわいい小さな子どもたちの大事な命をお預かりしているという責任感で一杯です。

担当制保育に取り組んで5年目を迎えます。ひよこ・りす・うさぎ組の保育室を使って、食事や排せつなどの生活をする部屋と午前寝・お昼寝をする部屋、遊ぶ部屋に分けて、子どもたちが生活しやすい環境を整えて過ごしています。月齢や発達を考えると寝るのも、食べるのも、遊ぶのも違ってきました。

りす組の子どもたちの年齢の幅も今月2歳を迎える子もいれば、1歳3ヶ月になった子もいます。4月はじめに子どもたちの生活の流れをお家の方にお尋ねしたことで、子どもたちの生活リズムを知ることができ、一人ひとりの子どもたちの主体性を大事にした流れる保育をすることができていると思っています。子どもたちの生活は24時間、お家だけでなく園ともつながって生活が流れています。だからこそ、毎日の生活リズムを整えることは大事です。大人に身も心もゆだねて過ごしてきた子どもたちも「自分で」という気持ちが出てきました。自分とは違う人との関係でとらえられてくると、すなわち違いが見えてくるからこそこどもは自分が主体になり、他者とのぶつかり合いを体験するのです。「自分を意識し、自己主張し、自分にこだわる心の動き」自我が芽生えてくる時期でもあります。1歳児クラスは、安心できる環境のもとで、「じぶんでやりたい」という自発性や色んな事への興味関心が広がって探索意欲が高まる時期です。しかし、まだまだ大人の手を必要とする時期でもありますので、一生懸命、目をかけ、手をかけ、心をこめて接していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

・野田 湖心(のだ ころ)です。富岡に住んでいます。

新年度が始まり早いもので1か月半。はじめは、人見知りで泣いてしまう子もいましたが、今ではにっこり。かわいい笑顔を見せてくれるようになりました。好きなことはピアノを弾くことです。子ども達と、お歌や音楽の時間も楽しんでいけたらと思います。そして何より子ども達一人ひとりが、安心して楽しく過ごせるよう心を込めて関わっていききたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

担任紹介



●カバンの中の確認をお願いします。

今りす組さんは自分でカバンからタオルや着替えを出したりと一緒に準備をしています。使ったタオルや着替えた服をビニール袋に入れることもしています。「しきらん」「できない」と言う時は少し手伝ってあげると、自分で出来た！と嬉しそうです。毎日少しずつ何回もするうちに上手になっている子ども達です。

そこで保護者の方にお願ひがあります。カバンの中の着替え等は子ども達を取りやすいように、どこに何があるかわかりやすく入れて下さると、とても助かります。荷物が多いと何を出していいのか子ども達も迷ってしまいます。今から自分でする練習をしていきたいと思ひますので、**カバンの中身と記名の確認**をお願いします。

また、着替え等の間違いがありましたら、すぐお知らせください。確認しているつもりですが、間違いがありましたらお許しください。

●お知らせ

○身体測定の結果は、出席カードの後ろに記入しますので、ご覧ください。

個人面談のお知らせ

5月の連休明けより、個人面談を計画しています。日頃、ゆっくりと保護者の方と子ども達のことについて話す時間がとれず、お話ができたかと考えています。

お忙しいことと思いますが、どうかよろしくお願いします。日程は5月19日(月)からです。時間はお昼寝の時間帯で13時～14時の間と、夕方17時以降の時間帯になります。

お一人、20分程度の時間ですので、ご都合の良い日をお知らせください。

※別紙にて、子どものことや園への要望などを書いて頂く用紙を配布しますので、事前に提出していただくとより有意義な時間になると思ひます。よろしくお願い致します。

・濱崎 拡子(はまさき ひろこ)です。坂瀬川に住んでいます。

りす組でも引き続き子ども達と一緒に過ごせることをうれしく思っています。

子ども達の気持ちに寄り添い、「この先生といると安心」と思ってもらえるようにお世話をしていきたいと思ひます。子ども達に元気をもらいながら一緒に楽しい遊びをいっぱいして過ごしたいと思ひますので、今年1年間どうぞよろしくお願いします。



育児情報 自我のめばえ・・・1歳後半～2歳

「いや」「だめ」は、最愛の大人からの独立宣言

1歳後半から2歳にかけて、子どもは「ごはんにしましょう」と誘えば「いや!」、「そっちは危ないから」と注意すれば、わざと行こうとし「寒いからジャンパー着ていこうね」といえば、「だめ!着ないの!」と払いのけるようにして逃げて行きます。「じゃあ、着ないのね、ここに置いとくね」といって様子をみていると、大人が見ていないことを確認して戻ってきて、自分で着るのです。

このように「いや」「だめ」という一語分を連発して、大人からの提案を拒否し、「**ひとりで**」「**じぶんで**」という主張を始めます。

大人のいっていることはわからないではないけれど、いまは大人の言いなりに行動したくない自分が育ってきたのです。「もう、ぼくが自分で決めるんだから」と訴えたい意思、自分で判断したいという心の世界が意識化されてきた表れです。

今まで大好きな大人と一心同体だったのが、自分とは違う人という関係でとらえられてくること、すなわち違いが見えてくるからこそ子どもは自分が主体になり、他者とぶつかり合いを体験するのです。

これを「**自我の芽生え**」といいます。

自分の欲求と他者の欲求を比較して、選択し始める

自我とは、「自分を意識し、自己主張し、自分にこだわる心の動き」です。そして「他者の自我とぶつかりながら、折り合いをつけて行く力」でもあります。自分なりのこころの世界が誕生すればこそ、他者とのぶつかり合いを体験することになるわけです。自分の欲求と相手の欲求、その両方をしっかり見比べ、どちらかを選択しようとする力が育ってきたのです。自我がめばえたということは、「わたしはこうしたい」「これが好き」という意思が明確になることで、自立への第一歩を踏み出したということになります。

大人と子どもがともに育ちあう大切な時間

この時期こそ、他者とのぶつかり合い、自分の欲求が常に通るわけではない事を学ぶチャンスです。信頼できる大人とぶつかり合い、人との葛藤を切り抜けることを知るのはこの時期です。かといって、自我がめばえてきた子どもに、つい「だめでしょ」「いけません」と大人は一方的に抑え込んでしまうきらいがあります。これは、単なるぶつかり合いで終わってしまい、せっかくめばえてきた自我の芽をつみとってしまいます。「だめ!」のかわりに大人がしてほしいことを、具体的に子どもに伝えてください。蛇口の開閉をくり返して遊んでいる子どもに、「そんなことしちゃだめ」ではなく「水止めてね」など。また、「そっちいっちゃだめ」ではなく「～がみたかったの?」など、子どものかたくなさに対し、大人はしなやかな心で対応することです。

子どもの気持ちを尊重して折り合いをつける

折り合うとは、子どもの「つもり」を受けとめながら、大人がどうしてほしいかを子どもに訴える。すなわち、向き合って一緒に方向を見出していくことです。これは、自我がめばえ始めたときだけでなく、3歳になっても、年長になっても、小学生、いやいや中学、高校生になっても、親と子が向き合って会話する基礎になることです。会話は、人の心と心が行き交うことです。

－育ちの理解－ 今井和子監修 小学館発行

連絡帳に、「イヤイヤが多くて、困っています」と書いてありました。子どもたちが大きくなるにつれて、「自我」が出てきたと言うことですね。ちょうど、今のりす組さんにぴったりの記事を見つけました。子どもたちの今の姿を思いながら読んでいただければ、『この時期なのか』と子どもたちの、行動やしぐさに納得していただけるのではと思います。

リス組のおともだち
5名です♪



森ななかちゃん

(お名前を呼ぶと「はーあーいー!」と満面の笑顔で答えてくれます。お気に入りの絵本を読んでもらうとご機嫌です♪)



射場けいしんくん

(車が大好きで、ブブーだ!しょうぼうしゃ?など言葉も聞かれるようになりました。園の近くを通る清掃車やトラックにくぎ付けです♡)



藤岡つむぎちゃん

(歌を歌うとすぐに体を揺らして手を振ったり叩いたりして、お歌が大好きです。かえるのうたを歌うと「クワックワ♪」っと歌う姿が可愛いです)



金橋まひろくん

(お歌が大好きで歌を歌うとすぐに体を揺らして手を振ったり叩いたりしています。かえるのうたを歌うと「クワックワ♪」と歌う姿が可愛いです。)



平田あさひくん

(今は歩くのがとても楽しくて、保育室内やテラス、中庭、園庭どこでもニコニコしてやっています。こいのぼりを見るととっても嬉しそうです。)